

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 権現福祉会	代表者	松本 善孝	法人・ 事業所 の特徴	高齢者・子供・障害児の方々を対象にした複合施設である「ふくしステーション千の穂」の1階にあり、利用者の住み慣れた自宅や地域で暮らしていきたいという思いを大切にし、家族と協力しながら日々のケアを行っている。事業所のみでの行事やイベントの参加にくわえ、施設内の事業所間の交流や地域の行事、買い物等に出かけ地域との交流を図っている。また、八代市の災害時福祉避難所に登録しており、地域の福祉の拠点として活動している。
事業所名	小規模多機能ホーム こうだ	管理者	服部 和幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	2人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議に参加できていない職員を中心に、引き続き交代で参加出来るよう調整する。	今回も年度初めに参加予定を組み、前年度参加していない職員が参加する事ができた。初めての試みとして、職員が講師となり介護技術や基礎疾患に関しての勉強会を行った。	・職員が交代で出席できている。 ・職員が講師となつての勉強会がわかりやすかった。	運営推進会議の参加予定者を組む際、職員による勉強会も予定に入れ調整する。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染対応など、緊急時に職員全員が対応できるように、事業継続計画の再確認を行っていく。	事業継続計画に基づく勉強会を開催し、職員への周知を図った。ビジネスチャットを活用し、災害時を想定した安否確認訓練を行った。	・外の景色が見える配置になり、雰囲気も明るくなった。	職員が利用者様に背を向ける配置になっていた環境面があった為、今回改善した。引き続き、環境面に対して気付いた時に即座に対応していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の学校等との交流を行い認知度を高め、事業所のPRを行っていく。	学校との交流はできなかったが、地域のイベントに参加し、地域の方との交流を図る事ができた。	・何かイベントがあったらお知らせします。	いきいきサロン等、地域のイベントに参加させて頂き、交流を図ると共に事業所の認知度向上に努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き、地域との関わりについて利用者様・家族様の意見をお聞きし、お客様に寄り添った支援に繋げていく。	利用者様だけでなく、ご家族様とも積極的に交流し自宅での様子などの話を聞くことができた。地域との関わりについては、具体的な意見を聞くまでにはいかなかった。	・地域での支援ができていると思う。 ・地域に事業所があって助かっています。	それぞれの利用者様の暮らす地域とどのような関わりが持てるのか、具体的に情報収集を行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を通じて、写真や映像を活用した情報発信を強化し、事業所の取り組みや様子を発信する。意見や提案を収集し、月1回の部門会で検討して改善に反映する。これにより、事業所の透明性が高まり、関係者との信頼関係が深まると同時に、サービスの質向上につながる環境を整える。	写真や映像を活用した情報発信を強化し、SNSや掲示板を活用して事業所の取り組みや日常の様子を定期的に公開した。利用者や家族、地域住民からの意見を収集し、月1回の部門会で検討した情報発信の内容を改善。これにより、事業所の透明性が向上し、利用者や家族の安心感が増すとともに、地域との信頼関係が深まった。また、情報発信を通じて職員の意識も高まり、サービスの質の向上につながった。	・事業所の様子が分かるので安心できる。 ・どんな活動をしているのか知る機会が増えてよかった。	地域住民への情報発信を強化し、利用者の声や日常の活動、イベントの様子を写真や動画で積極的に発信する。地域行事と連携し、共同イベントやボランティア活動を増やして地域とのつながりを深める。SNSや事業所新聞を活用し、多様な手段で事業所の取り組みを発信し、地域との信頼関係をさらに強化する。
F. 事業所の防災・災害対策	災害発生時の連絡体制を明確化し、従業員や関係者との円滑なコミュニケーションを確保する。災害時に必要な備品や設備（非常用電源、防災グッズ、救急箱など）を常備し、適切な管理を行う。	災害発生時の連絡体制を明確にし、従業員や関係者と円滑なコミュニケーションを確保するため、ビジネスチャットを活用した緊急時の連絡網を整備している。また、災害時に必要な備品や設備を常備し、定期的に点検・管理を行っている。さらに、従業員には防災訓練を定期的の実施し、実際の災害時にも迅速に対応できる体制を整備している。	・地域に福祉避難所があり万が一の際にも頼りにできると感じました。 ・災害時の連絡体制がしっかりしていて安心できる。	災害時の連絡体制を強化し、従業員や関係者への多様な連絡手段を導入。非常用備品の点検・更新を定期的の実施し、管理体制を強化。防災訓練を年2回以上実施し、実際の災害対応能力を高める。これにより、災害時の迅速な対応と利用者・家族の安心を確保する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月8日(13:30～14:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	服部和幸(管理者・計画作成者)、櫛木真弓(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、槌田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	7人			16人

前回の改善計画	担当者会議、その都度得られた情報は確実に回覧し、全職員が情報共有できる体制づくりをする。 ご家族とお会いする機会がないお客様に関しては、管理者、連絡ノートから知り得た情報を共有し、お客様のニーズに合ったサービス提供を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	タブレット、朝礼、終礼の申し送りにて情報共有する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8人	8人			16人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	13人	1人		16人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6人	9人	1人		16人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7人	9人			16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
担当者会議の内容はその日のうちに申し送りしている。 本人様の情報など終礼やタブレットにて情報共有できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
ご家族とゆっくり話す機会がない為、ご家族の思いを十分に聞き出せていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
3日以内に回覧し、できていない職員に対しては全職員が声かけ行う事で周知徹底を図る。 ご家族とお会いする機会が少ないご家庭に関しては、連絡帳等活用し今後も情報共有行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和6年11月8日（13:30～14:30）

2. 「～したい」の実現
（自己実現の尊重）

メンバー

服部和幸（管理者・計画作成者）、櫛木真弓（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、槌田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	12人			16人

前回の改善計画

ケアプランと個別計画書の連動性を確認、実施した上で個別評価のもと課題整理行う。
声かけの工夫により、個別訓練が継続して実施できるよう支援を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

個別訓練の担当を決めた事で継続した実施が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	5人	11人			16人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	5人	11人			16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	7人	9人			16人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4人	12人			16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

個別訓練内容を掲示する事で、全職員が目標を把握でき取り組む事ができた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

声かけが不十分で、お客様のやる気を引き出せず訓練を実施できない事もあった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

隙間時間を活用し、手の空いた職員に個別訓練の指示を出すことで継続した実施ができる。
訓練に拒否がある場合は、声掛けのアプローチを変えて対応行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月8日（13:30～14:30）
3. 日常生活の支援	メンバー	服部和幸（管理者・計画作成者）、櫛木真弓（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、槌田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	4人	12人			16人

前回の改善計画	少しでも時間が空いたら利用者本人とのコミュニケーションを取り、カルテでの情報再確認と合わせて本人を知る取り組みを各自意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ICT導入に伴う業務効率化により、コミュニケーションを取る時間を増やす事ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2人	2人	12人		16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6人	10人			16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		14人	2人		16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7人	9人			16人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	6人	10人			16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々変わる状態を毎日観察し、変化に気付いたら自己判断せず報告・共有し、本人の状況に合わせた支援ができた。利用者が抱えている悩みや不安などを引き出せるような声かけを心掛けながら支援できた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
「以前の暮らし方」が10個以上は把握できていない。 直接介助を優先する為、カルテの再確認ができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「以前の暮らし方」について、各担当分は最低5個は把握するようにする。 コミュニケーションを取る事で情報収集し、変更分は都度カルテに赤色で追記していき、情報更新を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和6年11月8日（13:30～14:30）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

服部和幸（管理者・計画作成者）、樫木真弓（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、槌田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	7人			16人

前回の改善計画

次年度は職員の月1回の勉強会に地域資源についての項目を入れ、勉強会を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域資源についての勉強会を行い、理解する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		11人	5人		16人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2人	11人	3人		16人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		9人	6人	1人	16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	4人	6人	6人		16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

自宅での過ごし方を把握する為に、本人や家族から話を聞き、生活状況の確認をしている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

民生委員の方の把握ができていない。
いきいきサロンに行かれている事は把握しているが、実際の様子を見る事はできていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

引き続き運営推進会議に交代で職員が出席し、民生委員の方との交流の機会を作る。
地域の活動に出向いたり、実際の様子を見るなどしながら地域との密着を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月8日（13：30～14：30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	服部和幸（管理者・計画作成者）、櫛木真弓（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、樋田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	8人	8人			16人

前回の改善計画

地域社会との連携を深め、新たな社会資源を発見する。地域イベントへの積極的な参加や協力関係の構築を通じてご利用者に多様な活動を提供する。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご家族様と地域の方々から運営推進会議を通じて積極的に社会資源の収集を行い、月1回の部門会で情報共有ができ、地域の行事に参加する事ができた。さらに、事業所内での情報共有ツールを導入したことで地域の行事などへの参加を促進できた。引き続き、同様の手法を用いて積極的な行事参加に努める。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	8人	8人			16人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8人	8人			16人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4人	12人			16人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6人	10人			16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
体調不良のご利用者への個別ケア、地域イベントへの参加を希望される利用者へは積極的な声をかけている等、ご利用者の状況やニーズに合わせた細やかな支援を行うことが出来た。また、地域と協力し、運営推進会議を開催する等、地域の一員としての取り組みを通じて、ご利用者の満足度向上と地域との繋がりも深めることが出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
イベントへの参加は積極的にできていたが参加者に偏りが見られたり、利用できる地域資源に対しての職員の知識が不足している点があった。個別ケアに関しては、身体的な変化の気づきが多いものの、ご利用者の声や表情など多様な視点からの情報収集を行い、総合的な判断と対応を行っていきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域イベントの参加へはADLの低い利用者へも積極にご案内し、ご利用者へ満遍なく提供できるように努める。体調の変化だけでなく習慣化した訴えの中に変化がないか注意深く傾聴することを心がける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月8日（13:30～14:30）
6. 連携・協働	メンバー	服部和幸（管理者・計画作成者）、樫木真弓（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、槌田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		7人	8人	1人	16人

前回の改善計画	地域ニーズに合わせた多様な交流機会を提供し、事業所と地域との一体感を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域住民向けに防災講座や運営推進会議を通じて出前講座を実施し、地域住民に役立つ情報を届ける取り組みを進めた。また、地域の季節行事にも参加し、多世代交流を図った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	6人	4人	6人		16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	9人	2人	5人		16人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	8人	2人	6人		16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	7人	4人	5人		16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
イベント時、同法人利用の方々の訪問があり、利用者との交流を図れた。 地域ケア会議に介護職も参加し、各関係機関の方と関わる事ができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域住民の当事業所への来訪に関して、十分な受け入れ体制が整備できておらず、積極的に機会を設けることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域ニーズに応じた出前講座や交流イベントを年間3回以上開催し、地域住民と利用者の交流機会を増やす。 年1回地域のいきいきサロンと事業所が協力してイベントを開催し、双方の交流を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月8日（13:30～14:30）
7. 運営	メンバー	服部和幸（管理者・計画作成者）、櫛木真弓（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、槌田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	12人	3人		16人

前回の改善計画	定期的な運営推進会議を通じて職員が積極的に関心を持ち、事業所運営に貢献できるようにする。また事業所内外の情報共有を更に効率化し、事業所内の透明性を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は計6回の運営推進会議を開催し、職員が意見交換を行う場を提供した。一部の職員からは積極的な意見が出され、改善提案が業務の効率化に結びつく例も見られたが、会議への参加が苦手な職員もあり、全員が積極的に関与しているとは言えない状況。情報共有の効率化として電子カルテやLINE WORKSの導入により、事業所内での情報共有がスムーズになり、連絡の遅延や伝達漏れが減少した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1人	9人	6人		16人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	10人	3人		16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	9人	5人		16人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2人	6人	8人		16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
電子カルテやLINE WORKSの導入により、情報共有の効率が上がり、各問題点において素早い意見交換、対処等ができています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
運営に関して積極的な意見が出ておらず、定期的なミーティングや意見交換の場が不足している	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議を通じて職員が事業所運営に関心を持ち、積極的に意見を出せる環境を整える。職員の改善提案を積極的に採用し、成果に対して評価やフィードバックを行いながら、全員が職場貢献を実感できる職場環境を構築すると共に利用者様により良いサービスを提供することを目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月8日（13：30～14：30）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	服部和幸（管理者・計画作成者）、櫛木真弓（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上燕子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、槌田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	10人	1人		16人

前回の改善計画	今後もしもリモート研修等できるだけ多くの職員が参加できるよう、業務調整を行いながら質を向上する取り組みを継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は多くのリモート研修に参加が出来、業務調整等各職員の協力により取り組むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6人	7人	2人	1人	16人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4人	8人	4人		16人
③	地域連絡会に参加していますか	9人	7人			16人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7人	7人	2人		16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
リモート研修に参加出来ている事。毎月勉強会を開催し、情報共有出来ている。ホールの導線・居室の導線等整理行い事故防止に対してのリスクマネジメント出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会等についての情報不足、知識不足だと感じた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後もリモート研修やスキルアップに繋がる研修・懇談会等に参加し、各職員のスキルアップに努めていく。現在は地域連絡会に相応するものがないこともあり、地域資源の勉強会の際に開催するなど行政に確認を行ないながら今後の対応を検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和6年11月8日（13:30～14:30）

9. 人権・プライバシー

メンバー

服部和幸（管理者・計画作成者）、樫木真弓（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、桑原貴子、増田侑子、宗守貴史、田中明子、高瀬絵理子、槌田香澄、川上優典、織田堯、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	10人	6人			16人

前回の改善計画

声かけの言い回しや、具体的に内容を説明し納得して頂けるよう意識をして声かけ行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

お客様の目線で丁寧な声かけが出来ている事もあったが、一部感情的な声かけになっている事もあった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10人	6人			16人
②	虐待は行われていない	10人	6人			16人
③	プライバシーが守られている	9人	6人	1人		16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	6人	9人		16人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	9人			16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

個人情報の取り扱いについては、ホール事務所にて情報を確認する等出来ている。排泄や臥床時等パーテーションの活用をし、プライバシーに関する配慮も行えている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

時間や理由をお伝えした上での声かけ等が咄嗟の場面で出来ておらず、「少々お待ちください。」と一辺倒な声かけになっている。言葉の言い回し（引き出し）を増やす為の具体的な声かけ勉強会が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

感情的な声かけ、口調にならないよう声かけに注意し、スピーチロックや不適切な声かけをしている職員にはその場で注意を行っていく。具体的な声かけ勉強会の開催。